

■ インヴィニオ

管理職研修に体験型ゲーム 楽しみながら自己課題を客観視

中国駐在がマネジメント初体験という日系企業駐在員は少なくないが、中国を含む海外では一般的に、日本よりも高いマネジメント能力が求められる。人材・組織開発業のインヴィニオ CHINAは、マネジメント能力を高めるための体験型ゲームを開発し、日系企業の駐在員や現地管理職の人材育成に応用している。日本本国にも逆輸入され、既に数十社数百人に活用されている。

マネジメント研修需要に 高まり

インヴィニオは1997年に東京で創業。企業向け教育研修サービスを手掛けており、2011年に中国現地法人インヴィニオ CHINAを設立した。インヴィニオ CHINAは営業専門の担当者を置かず、「クライアントとともに成長する、をモットーとした開発力・品質力重視の経営」(大城昭仁CEO)でクライアントのリピート率を高める戦略を採っており、2017年のクライアントはリピート率100%だった。大半のクライアントが3年以上のリピーターという。

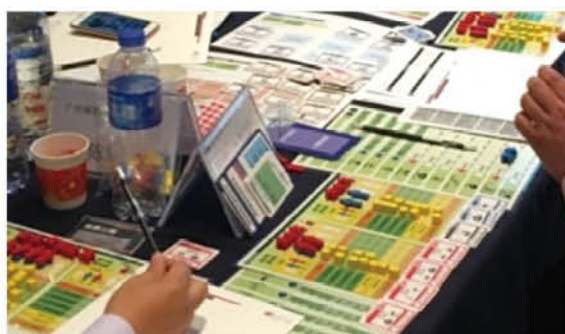
「最近の中国における日系企業では、経営を支える人材に加え、日本人も含めた管理者を育てるニーズが高まっている」と大城氏は語る。終身雇用・年功序列が主流だった日本では、人材は「定額使い放題」になりやすかったが、日本以外の国では人材は「定期契約」であり、役割定義や目標設定、キャリアパスなどのGive and Takeを明確にし

て動かしていく必要がある。中国市場の開拓のため、有能な中国人社員を使いこなす上で、改めて日系企業のマネジメント人材の開発能力のマネジメント能力が問われつつある。

しかし前述のような日本の特異な環境に起因し、多くの日本企業はマネジメント能力を育てるノウハウや経験が未熟。そこでインヴィニオ CHINAでは、部下の能力やモチベーション、役割などを管理しながら組織育成を目指す体験型シミュレーション・ゲームを開発した。

時間・労力の適切な配分へ

同ゲームはボードゲーム形式で、マネージャーに求められる多様な業務の中から、ターンごとに行動をひとつ選んで、組織づくりに取り組む。どのタイミングでどの行動を選ぶか、の判断によって、次第に組織の発展に差がついてくる仕組みになっており、限られた時間と労力



部下を育てるか、自ら営業に出るか。多様な行動の選択肢から、毎ターンひとつ選んで組織の育成を図る

を適切に配分する能力が求められるマネジメント層人材に、自身の実力と課題を客観視させながら能力開発を図る。

ゲーム開発に際しては、世界各国のマネジメント研修を研究・分析した。また、ボードゲーム開発会社と提携し、ゲームとしての精度や楽しさも追求した。3年かけて開発し、17年から研修に投入。受講者アンケートでは、ほぼ満点に近い好評だという。

英必諾企業管理諮詢(上海)

■ 上海市徐匯区天平路320弄20-25号
 欧
 愛喜中心4楼D
 ☎ 021-6437-0001
 ✉ infochina@invenio.jp
 🌐 www.invenio.cn/